令和7年度における「みえ森と緑の県民税」の使途について（松阪市）

番号	事業名	事業内容	実績	事業実施による効果	事業費	事業費の内訳		
						交付金	一般財源	その他
1	里山の森林安全安心対策事業	該当地域において関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界確認・測量及び間伐等の森林整備を実施。	森林整備 22箇所	地域の里山が整備されたことにより、地域住民の生活環境の向上や道路の安全性が確保された。	15,298,800	15,199,900	98,900	0
2	森林環境学習事業	市内小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境学習を実施。また、その小学校で市産材を使用し、学校施設の一部を木質化。	小学校 1校 （森林環境学習・木質化）	森林環境学習を実施することにより、木材の活用や森林づくりへの理解を深めることができた。また、一部木質化された校舎で学ぶことにより、さらに木材とのふれあいが進み、理解や興味の相乗効果が期待できる。	2,773,100	2,773,100	0	0
3	松阪の木魅力発信活動事業	松阪地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が松阪工業高校生（デザイン科）と共同（看板のデザイン・製作ともに）で松阪の木のPR看板をデザイン・作製・設置することにより、木の魅力を学び、林業や製材業等の担い手と関わる機会を創出する。 　併せて「松阪地区青和会」と松阪工業高校デザイン科の生徒で、「セーザイゲーム（木に触れ、遊びながら学べる製材教育ボードゲーム）」及びウッドピア見学会を行い、森林や木材について学び、森林教育を実施。	森林及び木材の学習及びふれあいの場創出イベント	参加者及びウッドピア来訪者に対する森林や木材、林業・木材産業への関心を高めることができた。	617,000	200,000	0	417,000
4	保育園木育推進事業	市内公立保育園の備品を市産材で木質化し、森林環境学習の一環として、以前に当該県民税を活用し作製した児童及び園児向けの森林環境学習用絵本の読み聞かせ等を実施。	木製椅子　45脚 木製机　　18台	対象者が市産材で木質化された備品に触れることで、木材とのふれあいを促進することができた。	3,189,527	2,000,000	1,189,527	0
5	都市公園整備事業	松阪市総合運動公園内に市産材を使用した木製東屋を設置。	東屋設置 1基	松阪市総合運動公園は面積の約６割を森林が占め、林内には遊歩道が整備されるなど、市民が自然と親しむことができる憩いの場となっている。 　松阪市では当公園を「森林教育」のフィールドとして活用するため、東屋の施設整備をするとともに、森林へ導く遊歩道のマップ及び森林の効果等を示した看板の設置を行い、市民が森林の大切さなどを学びながら、さらに深く自然と親しむことのできる環境づくりができた。	5,526,400	4,600,000	926,400	0
6	災害からライフラインを守る事前伐採事業	台風などの倒木被害により、停電が発生することを防ぐため、配電線を寸断する恐れのある樹木の事前伐採を行った。	危険木の事前伐採　1,102本	災害時等の倒木によるライフラインの寸断を未然に防止し、市民生活の安全と安心の確保をすることができた。	20,179,504	10,000,000	179,504	10,000,000
	合計				47,584,331	34,773,000	2,394,331	10,417,000